

---

# ハッピー・スノー

Mico

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ハッピー・スノー

### 【Zコード】

Z5435D

### 【作者名】

Mico

### 【あらすじ】

隆史は入院しているおばあちゃんが次の日も、また次の日もにっこり笑ってくれるものだと思っていた…

ばあちゃんが死んだ。

昨日お見舞いに行つた時は、まだピンピんじていて、

「隆史、誕生日プレゼントは何がいいかい？」

つて、来週の日曜日の僕の誕生日をばあちゃんと覚えててくれた。

「うーん……じゃあ、明日までに考えとくよ。」

「せうか…明日かい…」

少し寂しそうな顔をしたばあちゃんに、小学生の僕は気づきもしなかつた。

次の日、給食を食べていると先生が僕の所に来た。

「隆史くん…わざわざお母さんから電話があつてね、おばあちゃんが亡く…」

僕は大好きなカレーとフルーツポンチを残して、勢いよく立ち上がり、教室を走つて出ていった。

後ろの方で先生が僕の名前を呼んでいた。

先生は嘘ついてるんだ！

「ああ、ちやんが死ぬ訳がないんだ！」

病院の3階の部屋に行けば、ばあちゃんは僕を見てにっこり笑うんだ！

半分言い聞かせる様に、僕は頭の中で言った。

病院の階段を2段飛ばしで駆け上がりつて、病室に駆け込んだ。

母ちゃんがばあちゃんの横でぼーっと座っていた。

「さあやひあんー」

ベッドでぐつすり寝てゐるばあちゃんを起しにいと、びつくりあるく  
らい大きな声で呼んだ。

すると座っていた母ちゃんは

「隆史……まあちゃんはね……死んだんだよ……」

と黙つて、僕を強く抱きしめてボロボロと涙を流した。

母ちゃんは嘘をつかない人だから本当に死んだんだって分かった。

「…うん。」

僕は”ばあちゃんの死”を理解したけど、悲しいとか思わなかつたし、母ちゃんみたいに泣けなかつた。

だつて、ばあちゃんを見ると、ただぐすり寝てる様にしか見えなくて、やつぱり死んでなんかないじゃん。つて思つた。

母ちゃんが泣き止んで、トイレに行つた時、寝ているばあちゃんに話しかけてみた。

「ばあちゃん、今年のプレゼントは雪がいいな。  
まだ今年になつて雪見てないしさ…」

家には木の箱に入つたばあちゃんがいた。

田をつぶつて、ばあちゃんが気に入つてた赤い口紅をうつとつけて、にっこり笑つたばあちゃんが…。

僕は、ばあちゃんが家に帰つて来てから

「おまよっ」「とか  
「行つてきます」「とか  
「ただいま」「とか

「お休み」とか

毎日ばあちゃんに話しかけた。

でもばあちゃんは田をつぶつてこいつと笑ったままだった。

たまに学校であつた面白い話をもするけど、ばあちゃんはぴくりとも動かなかつた。

今日も最後に「お休み」って言つて寝たり、夢を見た。

赤い口紅をちよつとつけたばあちゃんが僕を起こして来て

「隆史、おせよひわん。

今日は隆史の誕生日だらう?..おめでとう。」

つて僕の右手を握つた。

「ばあちゃん、あつがとう。

あーフレグメント句つ?..?

つて僕が聞くと

「つふふふふふ

つて笑うだけで、僕がしつこく聞いてもちゃんと

「つふふ

つて言つだけで、だんだん僕から離れて行つた。

「え…ばあちゃん?

「……ちがひあらん——」

ガバッと起き上がりつて、周りをキョロキョロしたけど、ばあちゃんの姿はなかつた。

「夢か…」

そう思つてまた寝ようとしたら、何故かカーテンが少し開いていた。

不思議に思い、窓に近づくと外は雪だつた。

そうだ！今日は僕の10才の誕生日だ！

せつめの仕事じゃないんだ！

雪はまだちゃんと誕生日プレゼントだー！

# 僕は窓を開けて

と叫んだ。

「うふふ」

つじまあやちゃんの声が聞こえた気がした。  
そして右手が少しだけ温かくなった。

時計を見るとまだ5時だった。

早起きのばあやちゃんは、先と僕と一緒に一番おめでたしひて言つたか  
つたんだと思つ。

でも父ちゃんも母ちゃんも

「まあやが『おめでとう』って言つたんだよ。」

なんて言つても信じてくれないと困つか、泣きながら、泣きながら

ばあやこと僕だけの秘密にしていく。

最高の誕生日プレゼントだよー。  
ばあやん、本当にありがとうございます。

END

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5435d/>

---

ハッピー・スノー

2010年10月9日22時52分発行